

古墳壁画の保存活用に係る調査研究について

平成22年4月1日

文化庁長官決定

一部改正 平成24年7月2日

一部改正 平成27年3月2日

一部改正 平成29年6月12日

1. 目的

高松塚古墳壁画及びキトラ古墳壁画の適切な保存活用を行うために必要な事項等を調査研究する。

2. 調査研究事項

- (1) 高松塚古墳壁画の保存活用に関する事項
- (2) キトラ古墳壁画の保存活用に関する事項
- (3) その他古墳壁画に関する事項

3. 実施方法

- (1) 2. の調査研究を行うため、有識者で構成する「古墳壁画の保存活用に関する検討会」（以下「検討会」という。）を置く。
- (2) 熊本地震に伴う装飾古墳の復旧方策等について専門的に調査研究するため、検討会に装飾古墳ワーキンググループ（以下「ワーキンググループ」という。）を置く。
- (3) 検討会及びワーキンググループの委員は、2. に関する学識経験者等のうちから、文化庁長官が委嘱する。
- (4) ワーキンググループは、検討会の委員のほか専門委員をもって構成する。
- (5) 検討会及びワーキンググループは、互選により座長を選出する。座長に事故があるときは、あらかじめその指名する副座長が、その職務を代理する。
- (6) 検討会及びワーキンググループには、必要に応じて委員以外の学識経験者等の出席を求めることができる。

4. 庶務

この調査研究に関する庶務は、文化財部美術学芸課古墳壁画室が行う。

古墳壁画の保存活用に関する検討会
装飾古墳ワーキンググループ委員

(平成29年6月30日現在)

(敬称略、五十音順)

- | | |
|-------|--------------------------------------|
| 梶谷 亮治 | 奈良国立博物館名誉館員 (美術史学) |
| 朽津 信明 | 東京文化財研究所保存科学研究センター修復計画研究室長
(保存科学) |
| 高妻 洋成 | 奈良文化財研究所埋蔵文化財センター長 (保存科学) |
| 甲元 眞之 | 熊本大学名誉教授 (考古学) |
| 三村 衛 | 京都大学大学院工学研究科教授 (地盤工学) |
| 村崎 孝宏 | 熊本県教育庁教育総務局文化課長補佐 |
| 山尾 敏孝 | 熊本大学大学院先端科学研究部シニア教授 (土木工学) |
| 和田 晴吾 | 兵庫県立考古博物館長 (考古学) |

(計8名)